様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	日本医歯薬専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医歯薬専門課程	歯科衛生士学科午前部	夜・通信	2685 時間(新課程) 2610 時間(旧課程) 2610 時間(旧課程)	80×3＝240 時間	
	歯科衛生士学科夜間部	(夜)・通信	2580 時間(新課程) 2610 時間(旧課程) 2610 時間(旧課程)	45×3＝135 時間	
	視能訓練士学科午前部	夜・通信	2080 時間(新課程) 2190 時間(旧課程)	80×3＝240 時間	
	視能訓練士学科夜間部	(夜)・通信	1320 時間	80×1＝80 時間	
	登録販売者学科	夜・通信	465 時間	80×1＝80 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教務の実務経験に関するチェック欄有り。
（掲載：https://www.ishiyaku.ac.jp/publicinformation/disclosure-of-info/curriculum/）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	日本医歯薬専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/board-member.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和７年５月２９日～令和１０年度の定時評議員会終結時まで	適切な情報収集
非常勤	株式会社役員	令和７年５月２９日～令和１０年度の定時評議員会終結時まで	財務体制の強化
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医歯薬専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 歯科衛生士学科午前部、歯科衛生士学科夜間部、視能訓練士学科午前部、視能訓練士学科夜間部、登録販売者学科、社会福祉士・医療ソーシャルワーカー学科、歯科助手学科） 【作成について】 各授業科目については、毎年度、年２回行う教育課程編成委員会の意見を活用し、委員長（教務部長）が改善案を学校長に提出、学校長決済ののち理事会にて決議承認。授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、各授業を担当する教員により作成を行っている。 学内の教員用内規の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の目標、授業への留意点、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び教材に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【時期について】 授業計画は前年度 12 月～1 月に担当教員が作成し、当該年度４月にシラバスをＨＰ上に公開する。	
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.ishiyaku.ac.jp/publicinformation/disclosure-of-info/syllabus/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
学則第 22 条において、成績評価、修了、卒業要件について規定している。
また、学則施行細則において評価について規定している。

（参考）
細則第 7 条　教育課程記載上の科目については、すべて評価を行う。評価は成績表および成績証明書へ記載する。
細則第 8 条　各科目について定期試験および臨時試験（論文・レポート・小テストを含む）、平素の学習状況、出席状況の 3 要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の 6 段階評価を行う。
2　A、B、C、Dを合格とし E、Fを不合格とする。
3　小テストの評価に関しては別に定める。
細則第 9 条　学外実習は業界評価と学内評価（実習前・後教育）の 2 要素で評価する。
2　評価記述は「科目評価の基準」を準用する。
3　実習前教育において実習の目的意義を理解し、適性が認められた者の実習参加を許可する。
4　登録販売者学科の「企業インターンシップ」については別に定める。
細則第 10 条　国際教育は、出席率と個人課題評価の 2 要素で評価する。
2　評価は S（合格）または U（不合格）にて表記する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
学則施行細則において、ＧＰＡ制度による評価、対象科目を規定している。

（参考）
（GPA 制度導入の目的）
GPA は学生の成績を数値化し、客観的に把握するためのものです。学修成績全体の状況を把握し、学生の学習意欲の向上及び適切な修学指導に役立たせると共に、海外への留学や就職等、国際的な評価に対応させることを目的としています。
（GPA の算出方法）
GPA を算出する計算式は以下のとおりです。（GPA の算出は、小数点以下第 3 位以下を四捨五入するものとします。）

実点数範囲	100 点 ～90 点	89 点 ～80 点	79 点 ～70 点	69 点 ～60 点	59 点以下	受験資格 喪失
成績評価	A	B	C	D	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0

（GPA 算出の対象科目）
基礎分野、専門基礎分野、専門分野のうちの試験等による成績評価を行う授業科目であって、各学科において卒業要件に算入できる授業科目とします。
ただし、次の各号に該当する授業科目については、GPA の計算から除くものとします。
（1）　入学前に他の専門学校や大学（短期大学含む。）において履修した授業科目、又は海外の職業学校や大学（短期大学含む。）において履修した授業科目（科目履修生として履修した授業科目を含む。）
（2）　本校在学中に他の専門学校や大学(短期大学含む。）において履修した授業科目、または海外の職業学校や大学（短期大学含む。）において履修した授業科目。
（3）　学則の規定による編入学等に伴い、本校の授業を学修したものと同等以上の学力があると認定された授業科目。
（4）　前各号に掲げるもののほか、各校各学科が別に定める授業科目。（別表）
（GPA の評価対象外科目）
点数評価ではなく、履修の修了また単位認定のみされる科目については、
評価Ｓ（satisfaction）＝合格　評価Ｕ（un satisfaction）＝不合格として表記する。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	掲載： https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/syokitei.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 日本医歯薬専門学校は、学校教育法に基づき、人々の美と健康を考える視点を大切にし、ホスピタリティを持った医療サービスの担い手として地域医療・保健衛生の向上に貢献する人材を育成することを目的としている。 卒業要件について、学校長は教育課程の定めるところにより、各学年に修了すべき科目について試験を行い、合格者に対して当該科目の修了を認定する。各学科での所定の課程を修了した者には卒業証書を授与する。詳細については細目、ディプロマ・ポリシーに記載している。 当校ではディプロマ・ポリシーを策定し、ＨＰに公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載： https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/syokitei.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	日本医歯薬専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年６月に最新情報を公開 https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/syushi.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/business-report.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/kansa.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（新課程:2025 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科午前部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,580 単位時間／単位	1020 単位時間 /単位	660 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	234 人	5 人	7 人	51 人	58 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60 人 （100%）	0 人 （0.0%）	60 人 （100%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
224 人	10 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（旧課程:2024 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科午前部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,610 単位時間／単位	1095 単位時間 /単位	615 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	234 人	5 人	7 人	51 人	58 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60 人 （100%）	0 人 （0.0%）	60 人 （100%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
224 人	10 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（旧課程:2023 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科午前部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,610 単位時間／単位	1095 単位時間 /単位	615 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	234 人	5 人	7 人	51 人	58 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60 人 （100%）	0 人 （0.0%）	60 人 （100%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）			

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
224 人	10 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（新課程:2025 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科夜間部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	夜	2565 単位時間／単位	1020 単位時間 /単位	645 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	187 人	0 人	7 人	50 人	57 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71 人 （100%）	0 人 （0.0%）	67 人 （94.4%）	4 人 （5.6%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
196 人	11 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（旧課程:2024 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科夜間部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	夜	2610 単位時間／単位	1095 単位時間 /単位	615 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	187 人	0 人	7 人	50 人	57 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71 人 （100%）	0 人 （0.0%）	67 人 （94.4%）	4 人 （5.6%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
196 人	11 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（旧課程:2023 年度入学生）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	歯科衛生士学科夜間部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	夜	2610 単位時間／単位	1095 単位時間 /単位	615 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
210 人	187 人	0 人	7 人	50 人	57 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71 人 （100%）	0 人 （0.0%）	67 人 （94.4%）	4 人 （5.6%）
（主な就職、業界等） 歯科に関わる医療機関（歯科医院、総合病院、大学病院等）、企業、行政等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
196 人	11 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 妊娠・出産、経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（新課程:2025 年度入学生・2024 年度入学生 共通）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	視能訓練士学科午前部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2530 単位時間／単位	1065 単位時間/単位	345 単位時間/単位	1120 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人	101 人	0 人	6 人	20 人	26 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 （100%）	0 人 （0.0%）	36 人 （97.3%）	1 人 （2.7%）
（主な就職、業界等） 眼科に関わる医療機関（眼科医院、総合病院、大学病院等）、企業等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
108 人	6 人	9.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（旧課程:2023 年度入学生共通）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	視能訓練士学科Ⅰ部	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2625 単位時間／単位	1125 単位時間／単位	390 単位時間／単位	1110 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人	101 人	0 人	6 人	20 人	26 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	0 人 (0.0%)	36 人 (97.3%)	1 人 (2.7%)
（主な就職、業界等） 眼科に関わる医療機関（眼科医院、総合病院、大学病院等）、企業等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
108 人	6 人	9.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	視能訓練士学科夜間部		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	1455 単位時間／単位	735 単位時間/単位	45 単位時間/単位	675 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
35 人	39 人	0 人	3 人	13 人	16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （0.0%）	29 人 （93.5%）	2 人 （6.5%）
（主な就職、業界等） 眼科に関わる医療機関（眼科医院、総合病院、大学病院等）、企業等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	2 人	6.1%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、病気などの理由による就学継続困難、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医歯薬専門課程	登録販売者学科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	810 単位時間／単位	465 単位時間/単位	345 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
25人	25人	3人	1人	7人	8人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 全ての授業において、授業の到達目標、講義内容のまとめとしてコマシラバスを用意している。併せて修得状況の確認として小テストを毎時間実施している。また、随時担任教員による定期面談をはじめとして、学費担当者、就職支援センターの教職員による相談受付や面談、進路指導、生活指導などを行い、学生に対して積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	8人 (32.0%)	16人 (64.0%)	1人 (　4.0%)
（主な就職、業界等） ドラッグストア、薬局等			
（就職指導内容） 専属スタッフ（キャリアコンサルタント）による求人票の見方、履歴書添削、模擬面接			

（主な学修成果（資格・検定等）） 医薬品登録販売者（国家試験受験資格）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更（就職含む）等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。内容によっては三者面談を実施。早期対応に取り組んでいる。また、経済的理由で修学が難しくなりそうな場合は専属スタッフが対応し、こちらも同じく三者面談を早期に行うなどして中退防止を図っている。進路変更希望者には面談時に本人の希望について聞き取りを行い、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
歯科衛生士学科午前部	50,000 円	590,000 円	505,000 円	
歯科衛生士学科夜間部	50,000 円	510,000 円	382,000 円	
視能訓練士学科午前部	50,000 円	815,000 円	601,000 円	
視能訓練士学科夜間部	50,000 円	715,000 円	499,000 円	
登録販売者学科	50,000 円	235,000 円	142,000 円	
社会福祉士･医療ソーシャルワーカー学科（令和８年度募集停止）	50,000 円	510,000 円	281,000 円	
歯科助手学科（令和６年度募集停止）	50,000 円	360,000 円	173,500 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校ＨＰ公開している https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/jiko.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検･自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とする。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
在校生保護者	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	保護者
在校生保護者	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	保護者
高等学校　理事	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	高等学校
町内会　会長	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	地域
歯科医院　歯科衛生士	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	卒業生
歯科医師会　会長	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	業界
歯科衛生士会　顧問	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	業界
眼科医会　会長	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	業界
薬剤系一般社団法人　職員	2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	業界

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、ＨＰ公開している https://www.ishiyaku.ac.jp/wp-content/themes/ishiyaku/images/publicinformation/disclosure-of-info/kaizen.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.ishiyaku.ac.jp/publicinformation/disclosure-of-info/